



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 澁澤倉庫株式会社

コード番号 9304 URL <http://www.shibusawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 笠原 伸次

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長

(氏名) 星 正俊

TEL 03-5646-7235

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	40,813	△0.1	2,201	△2.0	1,985	△0.3	1,078	9.8
24年3月期第3四半期	40,844	0.2	2,247	△2.6	1,990	△5.3	982	31.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,152百万円 (200.8%) 24年3月期第3四半期 383百万円 (26.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	14.18	—
24年3月期第3四半期	12.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	85,693	33,178	37.9
24年3月期	84,817	32,564	37.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 32,483百万円 24年3月期 31,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.50	6.50
25年3月期	—	3.50	—		
25年3月期(予想)				3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	0.0	2,850	4.7	2,500	5.2	1,200	28.9	15.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものではありません。

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	76,088,737 株	24年3月期	76,088,737 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	54,445 株	24年3月期	53,130 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	76,034,829 株	24年3月期3Q	76,037,017 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要や経済対策効果により、緩やかな回復が見られたものの、欧米の財政問題の長期化や新興国経済の減速などにより停滞いたしました。

このような経済情勢にあって、物流業界では海外経済の減速や長引く円高の影響を受け、輸出貨物を中心に貨物取扱いが低調に推移しました。不動産賃貸業界においても空室率の高止まり傾向が続き、賃料水準も弱含みで推移するなど、厳しい事業環境で推移いたしました。

このような事業環境のもと、当社グループは、中期経営計画「SUCCESS 2012」の事業戦略に沿った営業活動を積極的に展開いたしました。物流事業においては、消費財を中心とした国内輸配送業務や流通加工業務の拡大に努めてまいりました。また、不動産事業においては、既存施設の計画的な保守および改良工事を実施し、現有資産の付加価値向上に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、前年同期並みの408億1千3百万円となりました。営業利益は、物流事業における作業費や前四半期に発生した固定資産取得に伴う一時費用の増加により、前年同期比4千6百万円(2.0%)減の22億1百万円となりました。経常利益は、資金調達費用が減少したことで前年同期並みの19億8千5百万円となり、四半期純利益は、投資有価証券評価損等の特別損失を計上したものの、税金費用の減少もあり、同9千6百万円(9.8%)増の10億7千8百万円となりました。

当社グループのセグメントの概況は、次のとおりであります。

① 物流事業

倉庫業務は、荷役料収入が前年同期を下回ったものの、保管料収入が増加し、営業収益は前年同期比1億1千4百万円(1.7%)増の70億9百万円となりました。

港湾運送業務は、船内荷役の取扱いが減少したものの、自動車部品関連および日用雑貨の取扱いが増加したことにより、営業収益は同2千4百万円(0.6%)増の41億1千1百万円となりました。

陸上運送業務は、震災対応の長距離輸送の取扱いが減少したものの、消費財を中心に輸配送業務および流通加工業務の取扱いが増加し、営業収益は同1億1百万円(0.5%)増の207億6千3百万円となりました。

国際輸送業務は、海外現地法人の取扱いは伸長したものの、海上貨物が低調に推移したうえに、航空貨物の緊急輸送も終息したことにより、営業収益は同2億3千2百万円(7.8%)減の27億4千3百万円となりました。

この結果、**物流事業全体**の営業収益は前年同期並みの356億9千5百万円となりました。営業費用は、貨物取扱いの増加に伴う作業費および施設賃借料の増加などにより、前年同期比1億1千3百万円(0.3%)増の345億9千5百万円となりました。以上により、営業利益は、前年同期比1億5千5百万円(12.4%)減の10億9千9百万円となりました。

② 不動産事業

平成24年2月竣工の賃貸用寄宿舎「ドリーミー三宮」が寄与したことやビルメンテナンス収入が増加したことにより、営業収益は前年同期比1億3千6百万円(2.7%)増の52億1千6百万円となりました。営業費用は、ビル管理業務の増加に伴う費用や前四半期に発生した固定資産取得に伴う一時費用の増加により、同1億1千2百万円(4.0%)増の28億9千9百万円となりました。以上により、営業利益は、前年同期比2千3百万円(1.0%)増の23億1千6百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有価証券の償還による減少があったものの、有形固定資産の取得により、前連結会計年度末に比べ8億7千5百万円増加し、856億9千3百万円となりました。

負債につきましては、長期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億6千1百万円増加し、525億1千4百万円となりました。

また、純資産につきましては、配当金の支払があったものの、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ6億1千4百万円増加し、331億7千8百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より0.3ポイント増加し、37.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動および財務活動によるキャッシュ・フローの増加がありましたが、投資活動によるキャッシュ・フローの減少により、前連結会計年度に比べ全体で29億3百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、56億4千4百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加等があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費による資金留保等により32億1千7百万円の増加（前年同四半期比13億5千4百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等があったため、64億8千1百万円の減少（前年同四半期比17億円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の約定返済および配当金の支払いがあったものの、長期借入れによる収入があったため、3億6千1百万円の増加（前年同四半期比26億7千6百万円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の連結業績は、概ね計画通りに推移しておりますので、平成24年11月5日に公表した通期の業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,565	6,049
受取手形及び取引先未収金	9,459	9,785
有価証券	4,403	1,007
その他	2,277	2,093
貸倒引当金	△20	△13
流動資産合計	21,685	18,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,138	31,285
土地	18,870	22,588
その他(純額)	1,529	1,440
有形固定資産合計	51,538	55,313
無形固定資産		
投資その他の資産	727	801
投資有価証券	8,455	8,414
その他	2,452	2,291
貸倒引当金	△53	△54
投資その他の資産合計	10,853	10,650
固定資産合計	63,120	66,765
繰延資産	12	4
資産合計	84,817	85,693

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,347	4,168
1年内償還予定の社債	—	7,000
短期借入金	6,188	5,401
未払法人税等	71	612
引当金	558	282
その他	2,548	1,799
流動負債合計	13,713	19,263
固定負債		
社債	7,000	—
長期借入金	24,185	25,903
長期預り金	5,090	5,037
退職給付引当金	2,077	2,144
その他	185	165
固定負債合計	38,539	33,250
負債合計	52,253	52,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	5,663	5,663
利益剰余金	18,016	18,560
自己株式	△19	△19
株主資本合計	31,507	32,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,094	1,129
為替換算調整勘定	△698	△697
その他の包括利益累計額合計	396	432
少数株主持分	661	695
純資産合計	32,564	33,178
負債純資産合計	84,817	85,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収益		
倉庫保管料	3,648	3,794
倉庫荷役料	3,246	3,214
荷捌料	7,401	7,171
陸上運送料	20,655	20,756
物流施設賃貸料	647	609
不動産賃貸料	4,990	5,124
その他	255	142
営業収益合計	40,844	40,813
営業原価		
作業費	26,163	26,256
賃借料	1,667	1,633
人件費	2,396	2,300
減価償却費	1,897	1,809
その他	4,123	4,281
営業原価合計	36,249	36,281
営業総利益	4,595	4,532
販売費及び一般管理費	2,347	2,330
営業利益	2,247	2,201
営業外収益		
受取利息	14	16
受取配当金	191	177
その他	128	146
営業外収益合計	334	341
営業外費用		
支払利息	435	417
その他	155	140
営業外費用合計	591	557
経常利益	1,990	1,985
特別利益		
事業譲渡益	—	50
債務免除益	124	—
特別利益合計	124	50
特別損失		
投資有価証券評価損	116	152
減損損失	—	41
固定資産処分損	85	—
特別損失合計	202	194
税金等調整前四半期純利益	1,913	1,840
法人税等	899	728
少数株主損益調整前四半期純利益	1,014	1,111
少数株主利益	31	33
四半期純利益	982	1,078

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,014	1,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△541	38
為替換算調整勘定	△89	1
その他の包括利益合計	△631	40
四半期包括利益	383	1,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	368	1,114
少数株主に係る四半期包括利益	14	37

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,913	1,840
減価償却費	1,996	1,912
減損損失	—	41
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	△6
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	22	△32
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22	66
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△131	—
受取利息及び受取配当金	△206	△194
支払利息	435	417
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	116	152
固定資産売却損益 (△は益)	△9	△8
固定資産除却損	42	23
売上債権の増減額 (△は増加)	△524	△325
仕入債務の増減額 (△は減少)	8	△179
その他	△1,009	△235
小計	2,691	3,473
利息及び配当金の受取額	203	189
利息の支払額	△492	△476
法人税等の支払額	△538	△206
法人税等の還付額	—	237
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,862	3,217
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,250	△1,260
定期預金の払戻による収入	1,268	1,273
有形固定資産の取得による支出	△2,057	△6,380
有形固定資産の売却による収入	252	53
無形固定資産の取得による支出	△63	△120
投資有価証券の取得による支出	△221	△14
投資有価証券の売却及び償還による収入	18	—
貸付けによる支出	△44	△45
貸付金の回収による収入	40	12
事業整理による支出	△2,722	—
その他	△1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,780	△6,481
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20	64
長期借入れによる収入	9,045	4,266
長期借入金の返済による支出	△5,534	△3,400
配当金の支払額	△457	△532
少数株主への配当金の支払額	△0	△2
リース債務の返済による支出	△32	△34
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,038	361
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	106	△2,903
現金及び現金同等物の期首残高	8,234	8,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,341	5,644

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流事業	不動産事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する営業収益	35,730	4,990	40,720	124	40,844	—	40,844
セグメント間の内部営業収益又は振替高	7	89	96	0	96	(96)	—
計	35,737	5,080	40,817	124	40,941	(96)	40,844
セグメント利益又は損失(△)	1,255	2,293	3,548	△24	3,524	(1,276)	2,247

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場運営等の業務を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,276百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、ゴルフ場運営の事業を分離したことにより、報告セグメントに含まれない「その他」の資産が1,195百万円減少しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	35,688	5,124	40,813	—	40,813
セグメント間の内部営業収益又は振替高	6	92	98	(98)	—
計	35,695	5,216	40,912	(98)	40,813
セグメント利益	1,099	2,316	3,416	(1,214)	2,201

(注1) セグメント利益の調整額△1,214百万円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(注3) 「その他」の事業を構成していたゴルフ場運営事業の整理が前連結会計年度において完了したことにより、当該区分は削除しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、賃貸用不動産物件を取得したことに伴い、不動産事業のセグメント資産が5,201百万円増加しております。